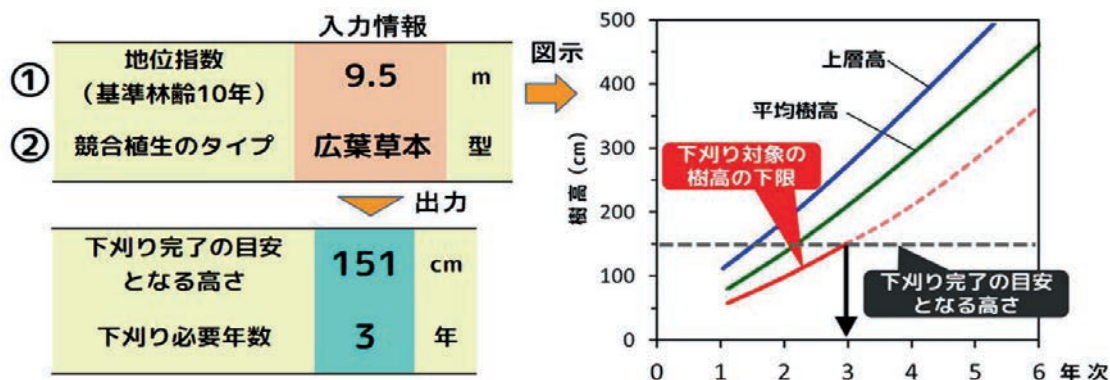


成長に優れた苗木を活用して下刈り期間を短くする

カラマツ類に対応した初期施業モデルの開発

課題名(研究期間) 成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発(2018~2022年度)



■下刈り期間を判定するための支援ツール

下刈りに要する期間やそれに必要な植栽木の高さを地位指数や競合植生の種類に応じて判断するためのツールを作成しました。



■パンフレット

育苗期間を短くする方法や下刈りを必要とする植栽木の状態、初期保育コスト、材質などに関する成果を集約したパンフレットを森林総合研究所と共同で作成しました。



成果の概要	■クリーンラーチの育苗期間を短縮するための技術を高度化しました。 ■クリーンラーチ向けの樹高成長曲線を新たに構築するとともに、植栽木一植生間の競合関係を定量化し、下刈り完了時期を判断するための支援ツールを構築しました。 ■既存のカラマツ人工林収穫予測ソフトを調整し、クリーンラーチに対応した収穫予測ソフトを作成しました。
成果の活用	■作成したパンフレットは下記のURLからダウンロードできます。 https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/pamph.html
成果の公表	■北海道立総合研究機構林業試験場・森林総合研究所(2023) クリーンラーチ・カラマツ類の優れた成長を活かす育苗と育林、施業モデル、パンフレット ほか普及誌5本、パンフレット2本
研究担当	林業試験場 経営グループ、林産試験場
連携機関	森林総合研究所、三井物産フォレスト(株)
特記事項	
備考	本研究は農林水産省による戦略的プロジェクト研究推進事業「成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発」(2018~2022年度、18064868)により実施しました。